

だい ち けず いくしゅんべつがわ
大地を削る幾春別川

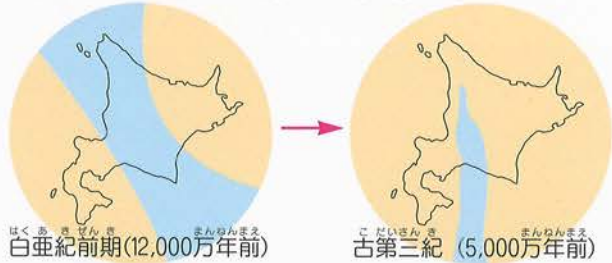
ねんせいりか
 (6年生理科)



みやざきしりつはくぶつかん
 三笠市立博物館



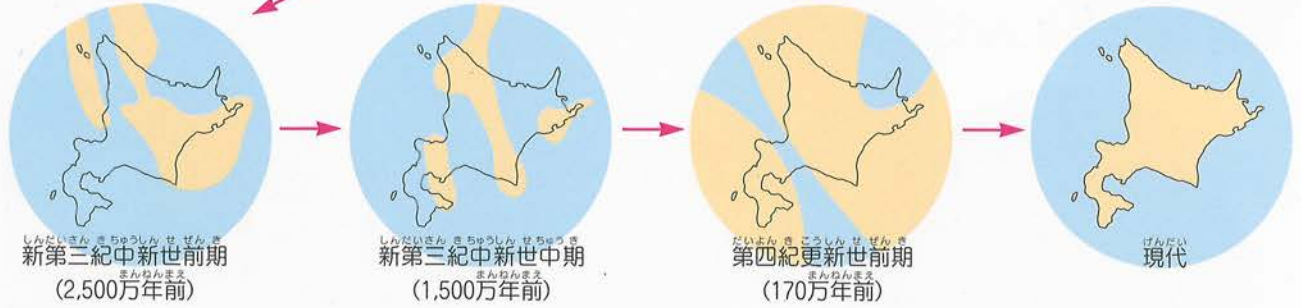
ほっかいどう かたち
北海道の形ができるまで



りくち 陸地
うみ 海



石灰が露出した地層 (ポンベツ川)



人が生まれるよりずっと前、まだたくさんの恐竜がいた1億年以上も昔、この辺りは海でした。サケくんが見たのはアンモナイト。三笠では、そんな大昔の生き物の化石がたくさん見つっています。また長い間、積み重ねられてきた砂と泥は、地層となっている。いろいろな昔のことを調べるのに役に立っています。石炭もたくさん出ていました。

大昔は海だったんだ（化石発見！）



アンモナイト（白亜紀）



テチスヤポニカ
（二枚貝の化石・白亜紀）



トリゴニア
（三角貝の化石・白亜紀）



モササウルス（ウミトカゲ）
の椎骨の化石（白亜紀）



エゾセラヌドサム
の化石
（アンモナイトの一種・白亜紀後期）

河岸段丘



河岸段丘（幾春別町 川向～山の手町付近）

川沿いの土地で、左の写真のように階段状になっているような地形を、河岸段丘といいます。これは、流れる水のはたらきでできたもので、平坦な部分は段丘面、段丘面の境にある崖は段丘崖と呼ばれています。この河岸段丘は、その土地ができた歴史を知る上で、たいへん役に立っています。

また土器や化石からは、昔の生活を知ることができます。詳しいことは、博物館で調べてみましょう。

ち そろ おおむかし わ 地層から大昔のことが分かるんだ



みかさしつかつむわ
三笠市桂沢

とおいで見るとはっきりしま模様になっているけど、ちかくに行くと今度は土の粒が大きいものと小さい物が積み重なっているね。これを地層っていうんだよ。水のはたらきで出来た土地か、火山の噴火で出来た土地かは、この地層でわかるんだ。

こういうところをさがしてみよう
とくに橋の上から見回してみよう



かわ はこ すな どろ しら 川が運んだ砂や泥を調べてみよう



じょうりゅうふ きん 上流付近

ゴツゴツとした、かたくて大きな石が多く見られます。

ちゅうりゅうふ きん
中流付近
やや丸みを帯びた石を多く見ることができます。



かりゅうふ きん 下流付近

丸い、小さめの石や砂が多くなりました。



でいたん かりゅういき 泥炭(下流域)

ピートとも言って、分解が不十分な枯れた植物などが積み重なってできたものなんだ。

